

朝倉の桜並木 また咲いて



桜の根元に土をかける児童ら

昨年7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた朝倉市で、被災によって失われた桜並木を復活させようとする動きが広がっている。国史跡の堀川用水沿いでは植樹式が開かれ、地元住民や子供たちがソメイヨシノを植え、来春の開花を待ち望んでいる。

(小松一郎)

豪雨被害 堀川用水沿いで植樹式

堀川用水は江戸時代に造られ、国史跡の三連水車を回している。市によると、三連水車近くの用水沿い約

1キロに桜約100本が植え

られていたが、豪雨で土砂が堆積するなどして、40本ほどが枯れて伐採されたといふ。

杷木林田でも復活の動き

植樹式は9日、同市山田で開かれた。公益財団法人「緑進協会」(福岡市)の主催で、被災地の復興を支援するために企画。地元の朝倉東小の6年生約20人や住民らが参加した。桜がなくなった用水沿い約350メートルには、高さ5メートルほどの若木約40本が植えられ、児童は「私の夢 未来の私」として、憧れの職業を書いた紙を根元の穴に入れ、スコップで土をかぶせて埋めた。

光美歯科衛生士と書いた赤時奏さん(12)は「無事に育

ち、きれいな花を咲かせてほしい。みんなが笑顔になれると思う」、バスケットボールのプロ選手を夢見る足立巡来君(12)は「桜がなくなったのは寂しかった。来年の春は見に来たい」と話した。

同市杷木林田の東林田区

でも、赤谷川沿いにあった桜並木の復活を目指す動きがある。

地元出身の若手による街づくりグループ「東林田Lovers」代表の塙原健

児さん(33)によると、川沿い200本ほどに桜が立ち並び、地域では人気の花見場所だったが、被災時に流れまるなどして姿を消してしまった。

地元では桜並木を再び見たいという声は強く、塙原さんは今後、川や道路などの復旧状況を見ながら、住民で話し合って植樹場所などを決めたい意向だ。塙原さんは「故郷の風景を取り戻し、復興へのシンボルにしたい」と話している。

貴さん(当時40歳)は「きれいな花を咲かせてほしい。みんなが笑顔になれると思う」、バスケットボールのプロ選手を夢見る足立巡来君(12)は「桜がなくなったのは寂しかった。来年の春は見に来たい」と話した。

同市杷木林田の東林田区

工藤会に対する特定危険

福岡、山口両県

員会は13日、暴力

に基づき、工藤会

北九州市)に対する

警戒指定暴力団の

を1年間延長する

た。期間は27日か

長は6回目。延長

裁を頂点とする組

わっておらず、市

当要求行為も継

る」などとしてい

事件事

▼警察官がたりキード盗む宗像署は

市の女性(85)が警察

の男にキャッシュ力

溢まれたと発表した

で捜査している。発

性の自宅に同日午前

察官を名乗る男から

アブの被害に遭つ

か。警察官を行かせ